2027年3月期 第1四半期
決算説明資料

株式会社オートバックスセブン

2026年7月31日

注：当社は第1四半期において決算説明会を行っておりません。
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

2027年3月期　第1四半期業績

全体概況 P. 3
セグメント別業績 P. 4
　オートバックス事業 P. 5
　コンシューマ事業 P. 8
　ホールセール事業 P. 9
　拡張事業 P. 10

TOPICS

中期経営計画 TOPICS P. 11
ESG・SDGsに関する取り組み P. 13

参考資料 P. 14

2027年3月期第1四半期 連結損益計算書

オートバックス事業の堅調な推移に加え、コンシューマ事業の伸長により、連結売上高は増加。
一方、物流拠点の拡大やIT関連コスト等の販管費が増加したことにより営業利益が減少し、増収減益。

（単位：億円）	2027年3月期 1Q 実績	売上比	前期比	2026年3月期 1Q 実績	前期比
連結売上高	688		+7.2%	642	+18.9%
売上総利益	252	36.8%	+10.1%	229	+24.3%
販管費	229	33.4%	+13.2%	202	+16.4%
営業利益	23	3.4%	▲13.1%	26	+154.1%
営業外収支	3	0.5%	▲5.2%	3	+21.4%
経常利益	26	3.9%	▲12.2%	30	+124.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	14	2.2%	▲26.0%	20	+173.9%

※表示単位未満は切り捨て　※対売上比・前期比は円単位で計算

2027年3月期第1四半期 報告セグメント情報

	（単位：百万円）	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前期比	総括
オートバックス事業	総売上高	46,508	48,994	+5.3%	増収減益 国内小売が好調に推移し増収となった一方、新規出店や子会社化に伴う販管費の増加により営業利益は微減。
	売上総利益	17,452	18,303	+4.9%	
	販管費	12,823	13,699	+6.8%	
	営業利益	4,628	4,604	▲0.5%	
コンシューマ事業	総売上高	12,193	14,563	+19.4%	増収黒字転換 オトロン、オンラインストア、ビーラインをはじめ全業態で売上伸長。収益性も向上し、営業利益は黒字転換。
	売上総利益	3,299	4,603	+39.5%	
	販管費	3,343	4,184	+25.2%	
	営業利益	▲43	419	–	
ホールセール事業	総売上高	8,046	8,381	+4.2%	増収増益 国内の卸売子会社が好調で増収。 前期より実施している組織・機能効率化により販管費が減少し、営業増益。
	売上総利益	1,508	1,510	+0.1%	
	販管費	1,369	1,362	▲0.6%	
	営業利益	139	148	+6.5%	
拡張事業	総売上高	2,706	3,204	+18.4%	増収増益 新規出店や増改築により不動産収入が増加。
	売上総利益	711	873	+22.8%	
	販管費	413	519	+25.6%	
	営業利益	297	354	+18.9%	
コーポレート(※1)	営業利益	▲2,335	▲3,192	–	物流・IT関連費用が増加。

※表示単位未満は切り捨て　※前期比は円単位で計算

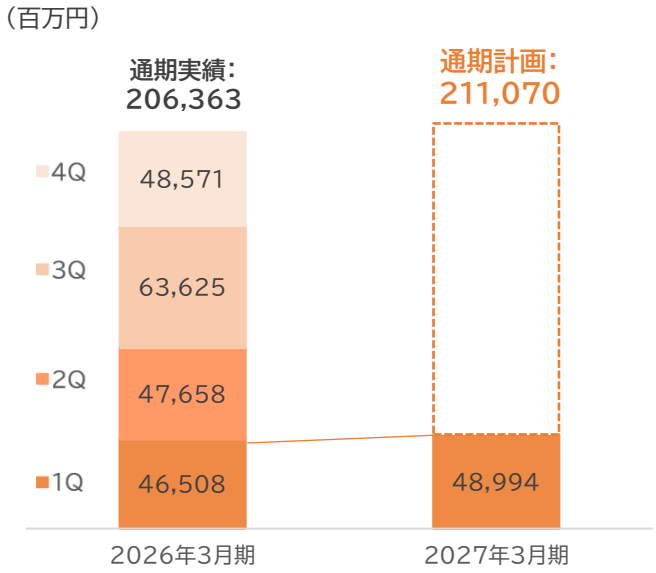
（※1）「コーポレート」は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費です

2027年3月期第1四半期 セグメント別業績 オートバックス事業

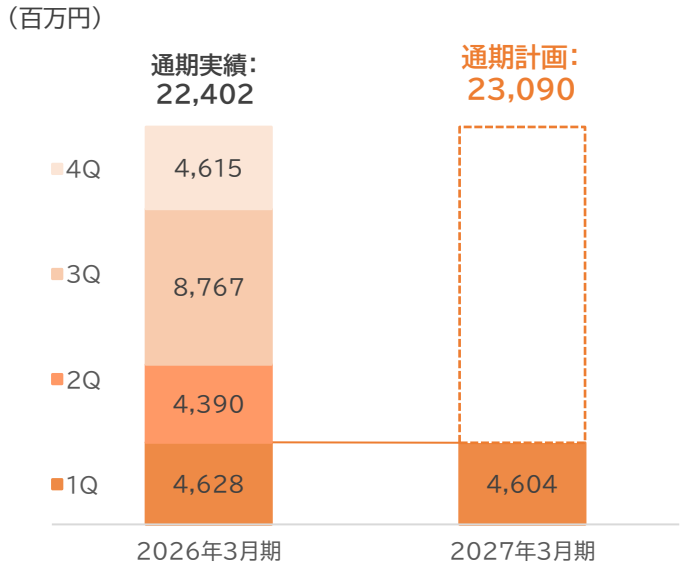
（百万円）	2026年3月期1Q	2027年3月期1Q	前期比
総売上高	46,508	48,994	+5.3%
小売	22,730	24,635	+8.4%
国内	20,391	22,400	+9.9%
海外	2,339	2,235	▲4.5%
卸売※	22,464	22,193	▲1.2%
セグメント間取引	1,312	2,164	+64.9%
営業利益	4,628	4,604	▲0.5%

※卸売売上高はロイヤリティを含む

■ 総売上高



■ 営業利益



増収減益
国内小売が好調に推移し増収となった一方、新規出店や子会社化に伴う販管費の増加により営業利益は微減。

- 国内オートバックス

＜小売＞

- タイヤの販売促進施策により、タイヤの売上が増加
- 中東情勢等を背景としたオイル単価上昇により、オイル売上が増加

＜卸売＞

- FC加盟法人2社の子会社化に伴い、卸売売上が減少

- 海外小売

＜フランス＞

商品のラインアップを拡充するも、個人消費の低迷により売上が減少

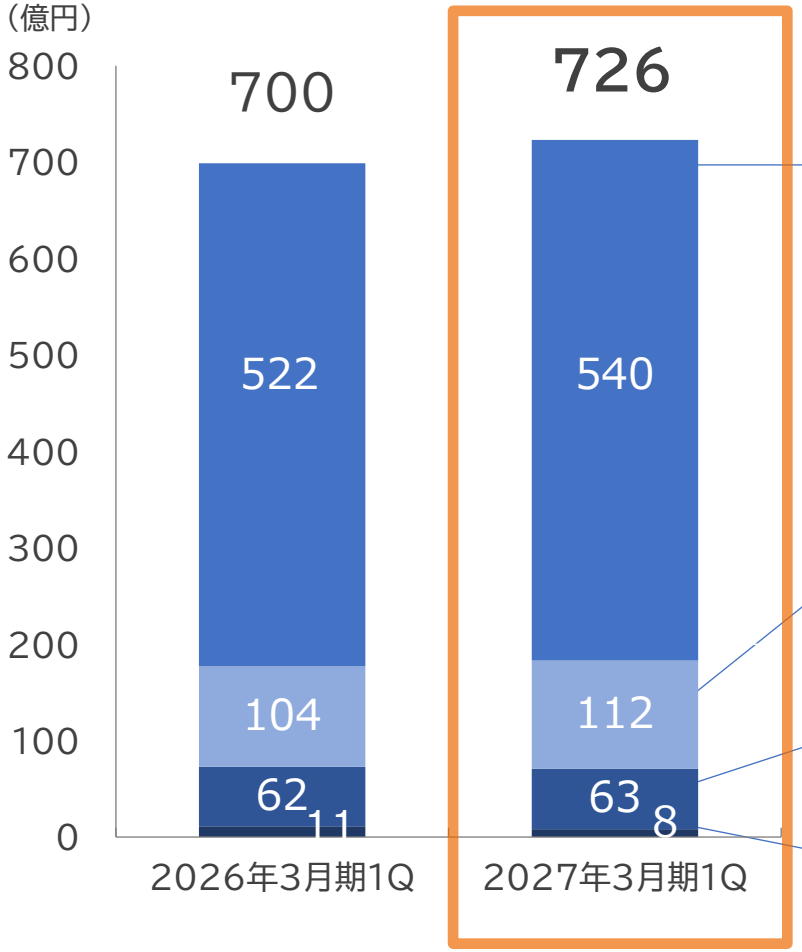
＜シンガポール＞

既存車両のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービス売上が堅調

2027年3月期第1四半期　国内オートバックスチェン　全業態売上高

AUTOBACS SEVEN

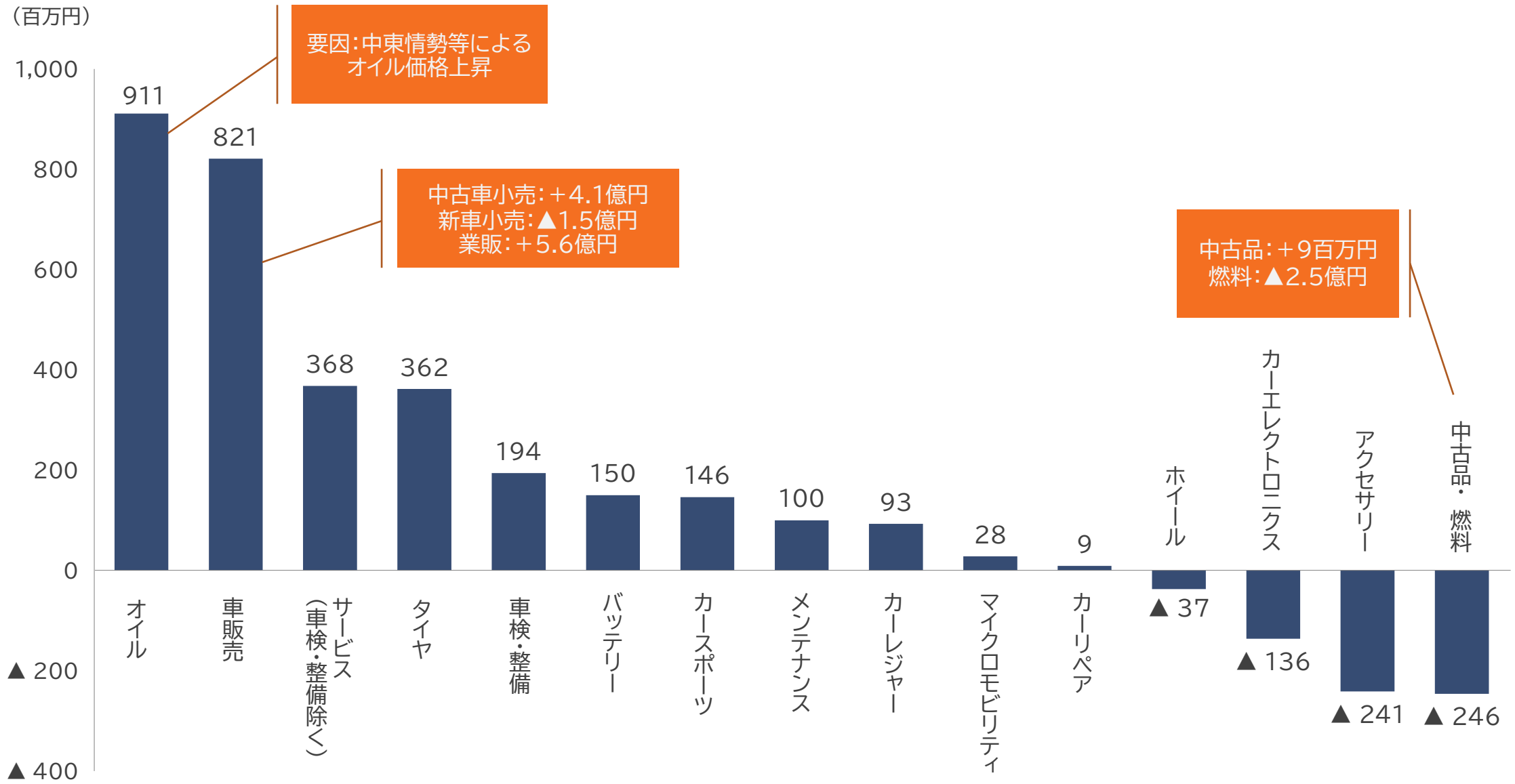
国内店舗売上高　726億円　前期比　+3.6%



	実績	前期比
カー用品販売＋サービス	**540億円**	+3.3%
車販売	**112億円**	+7.8%
	9,080台	▲2.6%
カーズ加盟店舗数	420店	前期末＋5店
車検・整備	**63億円**	+3.1%
	15.9万台	▲4.2%
指定店舗数	448店	前期末＋4店
中古品・燃料	**8億円**	▲22.3%

※対象：国内オートバックスチェン全業態。ただし、車販売には、コンシューマ事業の売上を一部含む
※表示単位未満は切り捨て　※前期比は円単位で計算

2027年3月期第1四半期　国内オートバックスチェン 全業態売上高 増減額（前期差 全店ベース）



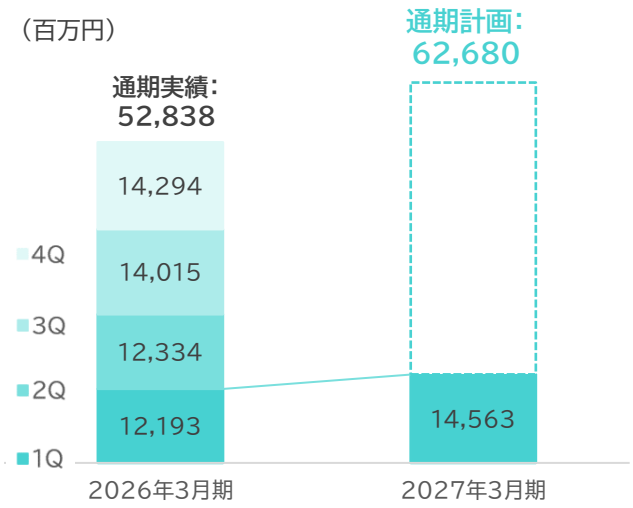
※対象：国内オートバックスチェン全業態
※表示単位未満は切り捨て

2027年3月期第1四半期　セグメント別業績　コンシューマ事業

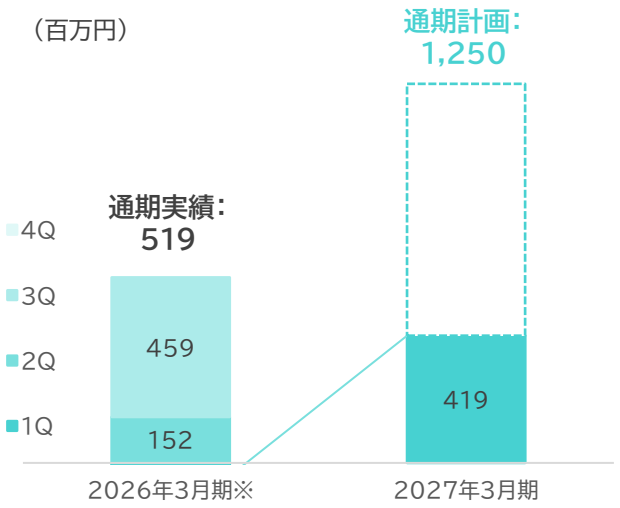
（百万円）	2026年3月期1Q	2027年3月期1Q	前期比
総売上高	12,193	14,563	+19.4%
ディーラー※	3,887	4,028	+3.6%
ビーライン	2,292	2,712	+18.3%
オートバックスカーズ	2,107	2,144	+1.8%
オトロン	1,535	2,235	+45.6%
オンラインストア	1,549	2,184	+40.9%
その他	755	1,180	+56.3%
セグメント間取引	67	77	+14.8%
営業利益	▲43	419	―

※ディーラー：Audi、Honda、BYD を展開。

■ 総売上高



■ 営業利益



※1Q・4Qは営業損失（1Q：▲43百万円、4Q：▲48百万円）

増収黒字転換

オトロン、オンラインストア、ビーラインをはじめ全業態で売上伸長。収益性も向上し、営業利益は黒字転換。

- ディーラー
  新規出店や新型車両投入により増収
- ビーライン
  3店舗を新規出店
- オートバックスカーズ
  他社との連携により、グループ内の中古車在庫を拡充
- オトロン
  前期に出店した4店舗が好調
- オンラインストア
  在庫最適化による販売機会の拡大により、売上が伸長
- その他
  前期の子会社化に伴いAUTO INの店舗数が大幅に増加

ディーラー

ホームセンター併設の整備工場

自社ローン型中古車販売店

タイヤ専業店

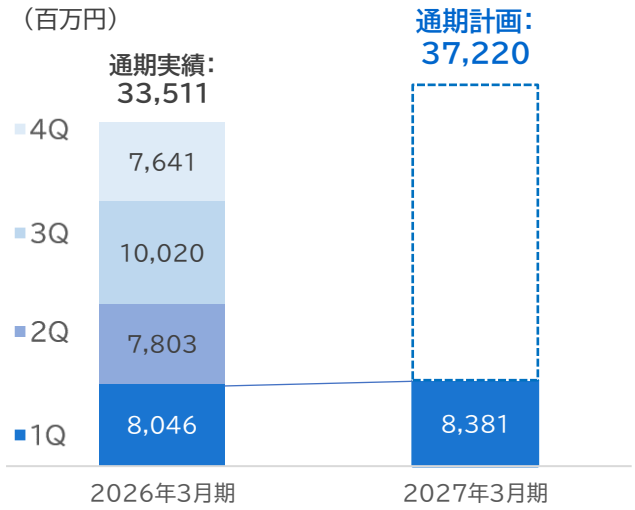
2027年3月期第1四半期　セグメント別業績　ホールセール事業

（百万円）	2026年3月期1Q	2027年3月期1Q	前期比
総売上高	8,046	8,381	+4.2%
国内卸売	4,934	5,269	+6.8%
海外卸売	688	698	+1.5%
セグメント間取引	2,423	2,412	▲0.5%
営業利益	139	148	+6.5%

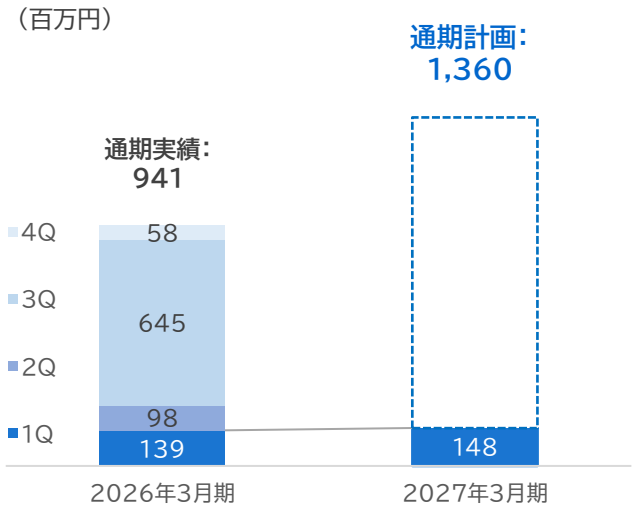
増収増益
国内の卸売子会社が好調で増収。
前期より実施している組織・機能効率化により販管費が減少し、営業増益。

- 国内卸売
  - 中東情勢等を背景としたオイル単価上昇により、オイルの卸売子会社の売上が増加
  - アルミホイールの卸売子会社のドレスアップホイール販売が好調
- 海外卸売
  ＜日本＞輸出取引が縮小
  ＜オーストラリア＞PB商品の販売が堅調
  ＜中国＞日本向け輸出と中国国内の卸売が増加

■ 総売上高



■ 営業利益



プライベートブランド「AQ.」

海外向けプライベートブランド

車両レーベル「GORDON MILLER MOTORS」

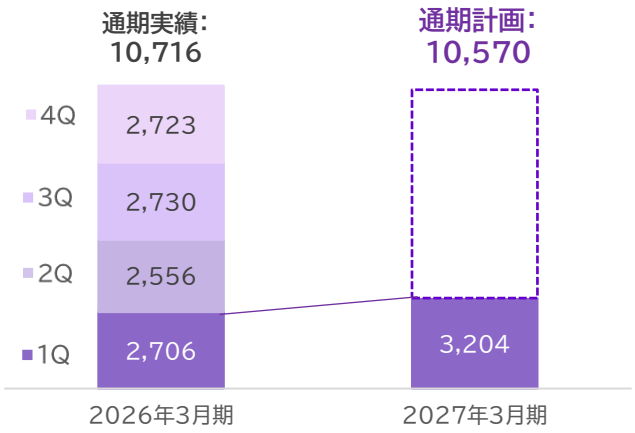
アルミホイール

2027年3月期第1四半期 セグメント別業績 拡張事業

AUTOBACS SEVEN

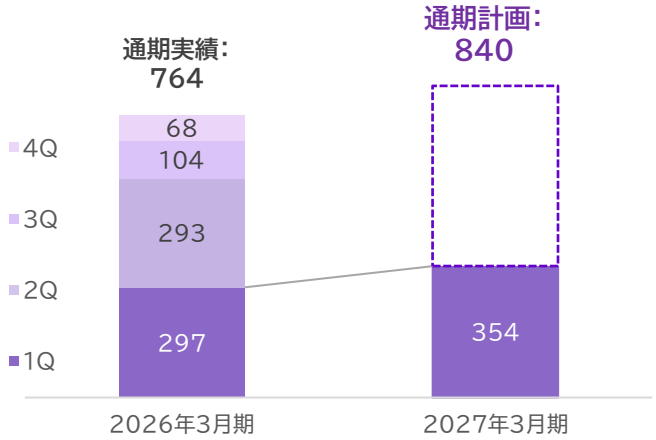
■ 総売上高

（百万円）



■ 営業利益

（百万円）



増収増益
新規出店や増改築により不動産収入が増加。

- 不動産
  新規出店などにより不動産賃料収入が増加

- SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）
  マイクロモビリティの売上が増加

■ トピックス

「VEEMO Welfare」が大分市の「イノベーション・トライアル支援事業」に採択

- 「VEEMO Welfare」は障害者等用駐車スペースの不適切利用防止と利用者の利便性向上を目的としたアプリ管理サービス

次世代モビリティ「Lean3」の試乗会を開催

- 車検・車庫証明が不要の小型EV「Lean3」の試乗会を東京・大阪・名古屋で開催

- 専用サイトにて購入予約受付を開始

AUTOBACS SEVEN

① タッチポイントの創出

中期経営計画　戦略骨子
①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

第1四半期の国内出店状況

新規出店
17店舗

（4月-6月）

オートバックス生駒店

オートバックス熊本清水本町

ビーライン小野田店

A PIT AUTOBACS PERFORMANCE FACTORY 大阪

ビーライン滑川店

BYD AUTO 京都四条

M&Aによる拠点拡大

- 車検・整備事業および車販売事業を展開する株式会社佐々木自動車を子会社化（2026年7月16日）

車検・整備事業の競争力を強化

- Audi、ボルボ、BYDの正規ディーラーおよび保険事業を展開する株式会社羽中田自動車工業を子会社化（2026年7月31日）

車販売事業の競争力を強化

ボルボ・カー 甲府

AUTOBACS SEVEN

② 商品・ソリューションの開発と供給

中期経営計画　戦略骨子
①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

専売商品の調達

海外有力ブランドの販売代理店事業を拡大

- カーケア用品のトップブランド「Meguiar ‘s」および布製タイヤチェーンの世界的ブランド「ISSE」の日本総販売代理店権を獲得
- 海外ブランド商品の国内展開を強化し、グループ内外の販売チャネルを活用して拡販を推進

カーケア用品ブランド「Meguiar’s」

布製タイヤチェーンブランド「ISSE」

新ソリューションの開発

事業者向けタイヤ保管プラットフォーム「TireLoop」開始

- 「TireLoop」は、タイヤの保管・管理・配送をワンストップで提供する事業者向けプラットフォーム
- オートバックスの保管ノウハウと物流ネットワーク、デジタル技術を融合し、整備事業者やディーラーが抱える保管スペース不足や繁忙期の業務負荷といった課題に対応

AUTOBACS SEVEN

寄付・寄贈

交通遺児の未来をサポート

- プライベートブランド「AQ.」商品の売上金の一部を、交通事故で保護者を失うなどした子どもたちを支援する財団へ寄付

AQ.商品の一部

日本カーシェアリング協会に車両を寄贈

- 「クルマを活用した災害支援」として平時から車両を寄贈
- 2023年度より定期的な寄贈を実施

2026年7月に車両8台を寄贈

地域活性化への貢献

株式会社マップルと地域観光・産業活性化に向けた共同取組を推進

- 地域における移動需要の創出および観光・産業活性化を目的とした共同取組の推進に関する覚書を締結
- 当社が運営するモビリティライフ情報サービス「MOBILA」とマップルの観光データ・地域創生ノウハウを組み合わせ、旅行前から旅行後までを一貫して支援する観光DXソリューションを提供

mapple × MOBILA

2027年3月期第1四半期　車販売台数

台数合計　9,080台　前期比　▲2.6%

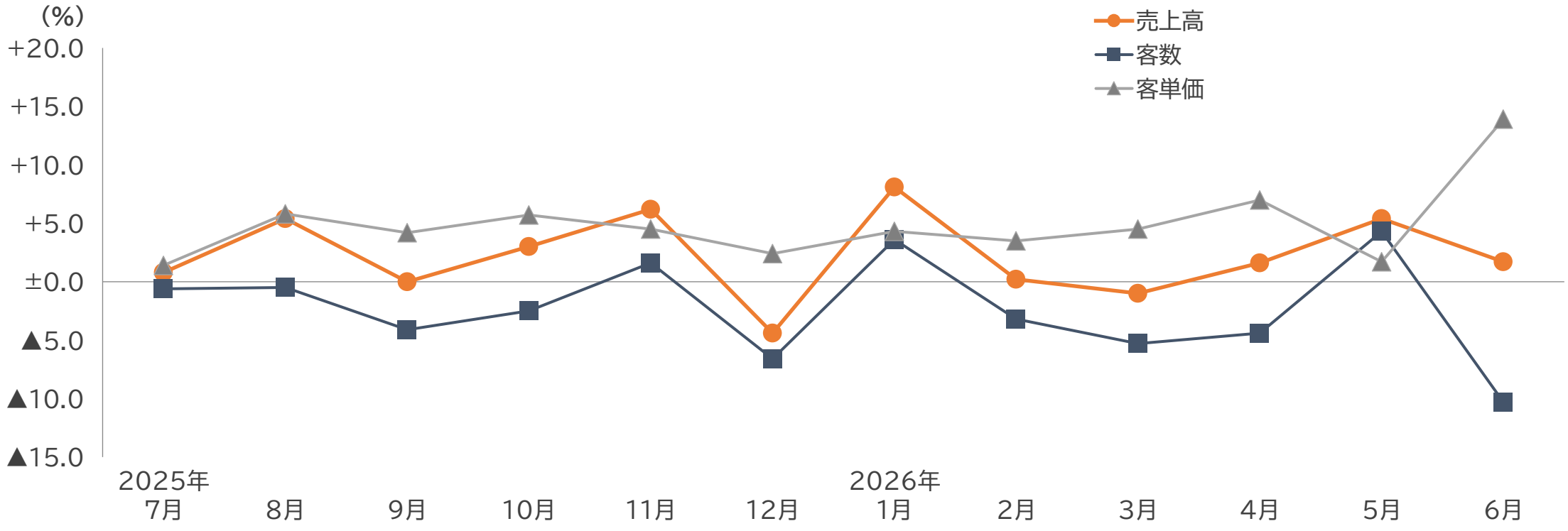
（単位：台）	2026年3月期1Q	2027年3月期1Q	前期比
小売販売台数	2,555	2,547	▲0.3%
中古車	1,858	1,947	+4.8%
新車	697	600	▲13.9%
業販台数	6,765	6,533	▲3.4%
本部へ売却	80	54	▲32.5%
本部へ売却を委託	1,717	1,737	+1.2%
店舗から直接売却	4,968	4,742	▲4.5%
総販売台数	9,320	9,080	▲2.6%

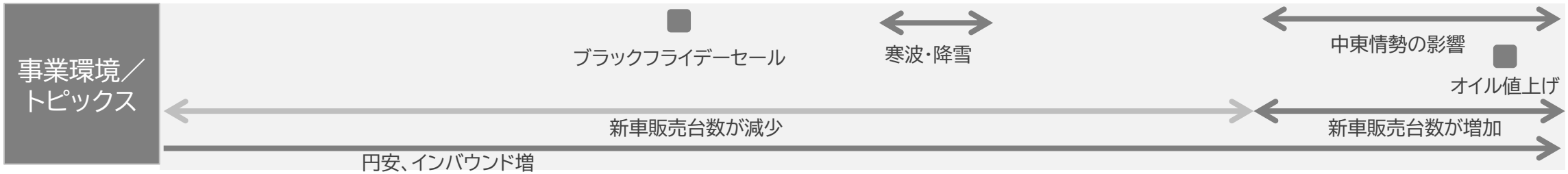
※オートバックス事業およびコンシューマ事業における車販売

国内オートバックスチェン　売上・客数・客単価　既存店前年比推移

AUTOBACS SEVEN

1Q　既存店 売上前期比 +2.9%　客数前期比 ▲4.0%



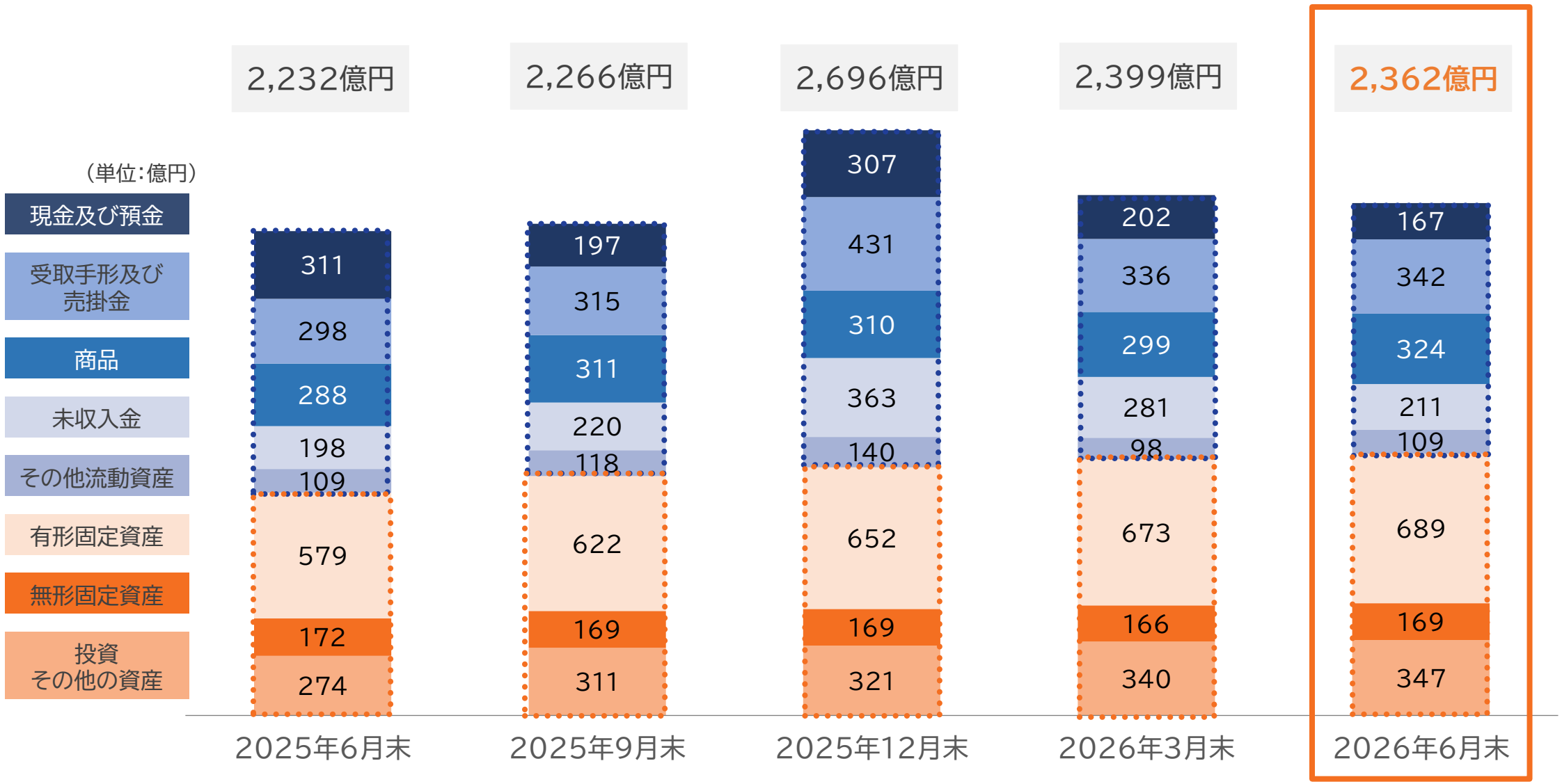


出退店の実績・計画

区分		2026年3月末	2027年3月期1Q			2027年3月末
		実績	新店	退店	期末実績	計画
国内	オートバックス	519	+4		523	528
	オートバックスガレージ	1			1	1
	スーパーオートバックス	71			71	71
	A PIT AUTOBACS	3	+1		4	4
	ASM	21	+1	-1	21	22
	Smart+1	18	+1		19	21
	オートバックスエクスプレス	11			11	11
	オートバックスカーズ	415	+5		420	421
	ディーラー	23	+1		24	28
	ビーライン	77	+3		80	85
	オトロン	21			21	25
	AUTO IN	82		-2	80	79
	その他拠点	9	+1		10	14
	国内合計	**1,271**	**+17**	**-3**	**1,285**	**1,310**
海外	台湾	6		-1	5	5
	シンガポール	2			2	2
	タイ	127			127	132
	フランス	8			8	8
	フィリピン	6			6	6
	海外合計	**149**		**-1**	**148**	**153**

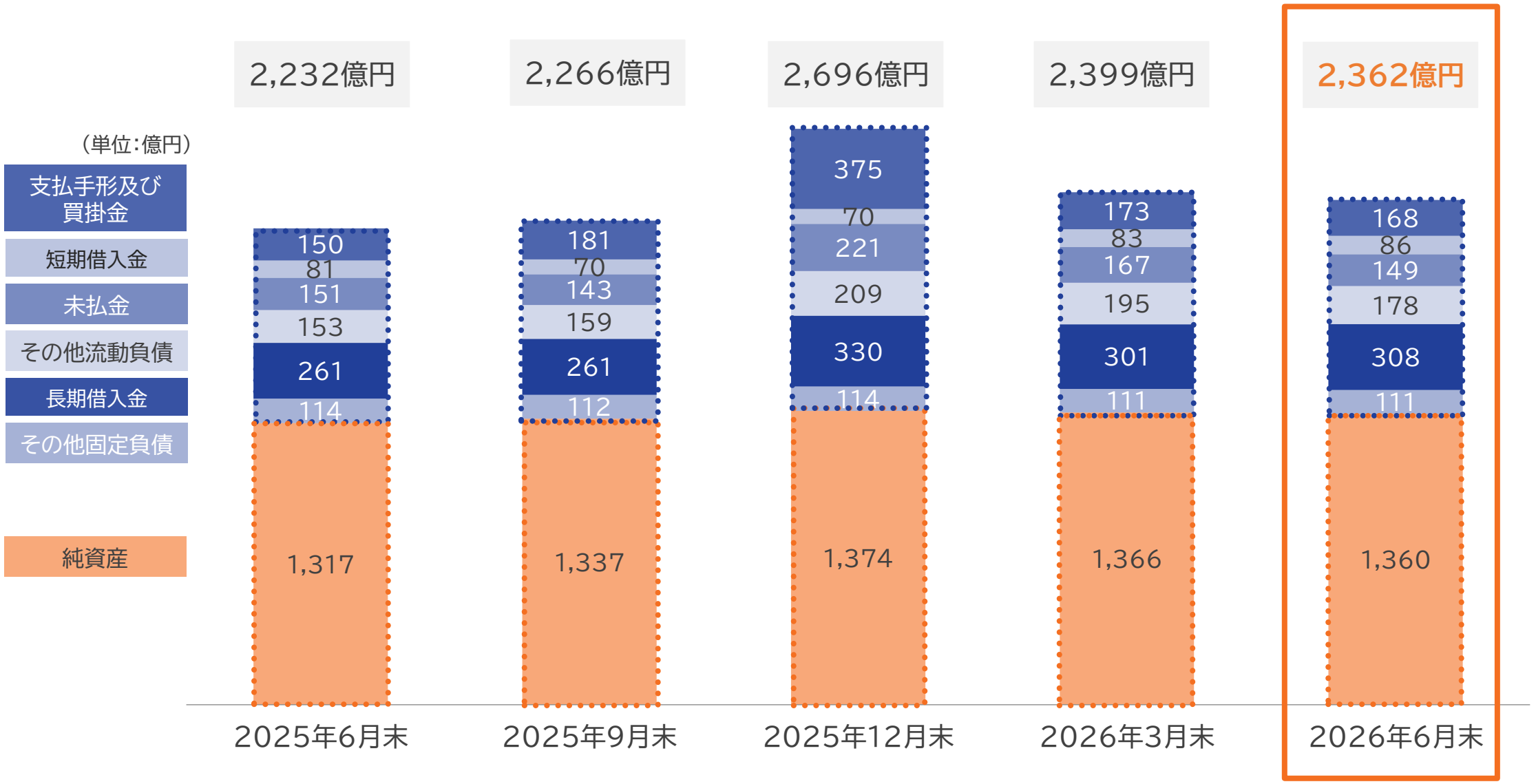
※「ASM」「Smart+1」および「オートバックスカーズ」は、インショップ・併設店を含みます。

連結貸借対照表　資産の部



※表示単位未満は切り捨て

連結貸借対照表　負債・純資産の部



※表示単位未満は切り捨て

見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。 これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。